



歳末特別警戒

紋別地区消防組合雄武消防団では、次の期間で歳末特別警戒を実施します。

特別警戒実施期間中の夜間は、消防車などが警鐘を鳴らしながら町内を巡回し、町民の皆さんに火災予防を呼びかけます。

実施期間 12月28日(金)～30日(日)

年の瀬は何かとあわただしく、火の取扱いに対する警戒心も薄れがちになります。ちょっとした油断から火災が発生しますので、日頃から火の用心をかけてください。

・火気の使用時はその場を離れない。
・出かける前、就寝前は火の元の点検を行う。

・喫煙は灰皿のある所で、寝たばこや吸殻の投げ捨てはしない。
・ライターなどを子どもの手の届くところに置かない。

・石油ストーブなど、暖房器具の周りには燃えやすいものを近づけない。
また、給油は火を消してから行う。
・住宅用火災警報器を設置しましょう。
消防防署雄武支署
☎84・2052



飲酒運転の根絶

一杯で 消える未来と 消せぬ罪

飲酒運転は悪質な犯罪

飲酒運転は、悲惨な交通事故を引き起こす悪質、危険な運転行為です。お酒はわずかな量でも運転に大きな影響があり、重大事故を起こす可能性が高まります。

平成27年12月1日施行「北海道飲酒運転の根絶に関する条例」に基づき、道民一人ひとりが飲酒運転の根絶に向けて「飲酒運転をしない、させない、許さない」を合言葉に、地域全体で飲酒運転根絶の気運を高めましょう。

飲酒運転は、運転者以外も処罰の対象

飲酒運転は、運転者だけでなく、周りの人にも重い処罰があります。車を運転する恐れのある人にお酒を提供したり、お酒を飲んでいる人に車を提供したり、飲酒運転の車に乗ると、たとえお酒を飲んでいなくても処罰の対象になります。

「ハンドルキーパー運動」で飲酒運転を防止
ハンドルキーパー運動とは、仲間と車で飲食店に行く場合、あらかじめお酒を飲まない人(ハンドルキーパー)を決め、その人が仲間を自宅

に、今後のご活躍をご祈念いたします。
問保健福祉課社会福祉係
中学生人権作文コンテスト入賞
法務省と全国人権擁護委員連合会では、人権尊重の大切さや基本的な権利についての理解を深め、豊かな人権感覚を身につけてもらうことを目的に、「全国中学生人権作文コンテスト」を実施しています。



北海道オホーツク総合振興局長表彰

雄武町民生児童委員を務める石井幸子氏、川口宜満氏が、民生児童委員として永年にわたり、町民が安心して暮らせるよう、地域の福祉活動に寄与してきたことが認められ、このほど北海道オホーツク総合振興局長表彰を受賞されました。

石井氏、川口氏は、12年以上民生児童委員を務め、地域福祉の向上に尽力されています。
受賞のお喜びを申し上げるとともに

優秀賞 石橋 美咲さん(3年生)

旭川地方大会では、81校1800編の応募がある中、雄武中学校の生徒が入賞されました。

おめでとうございます。
問保健福祉課社会福祉係

北海道社会員献賞

雄武町民生児童委員を務める今泉幸子氏が、民生児童委員として永年にわたり、社会福祉の増進に貢献したことが認められ、このほど北海道社会員献賞(社会事業関係功労者)を受賞されました。

今泉氏は、23年間民生児童委員を務め、地域福祉の向上に尽力されています。

受賞のお喜びを申し上げるとともに、今後のご活躍をご祈念いたします。



↑伝達を受ける今泉氏(右)

冬山遭難の防止

冬山は 装備・計画 しっかりと

冬山登山は見渡す限りの銀世界など、夏山とは違う大きな魅力があります。その反面、天候急変による遭難や、雪崩や滑落などの遭難が毎年

まで送り届けることです。お酒を提供するお店では、「お客さんが車で来店していないか」、「車で来店している場合は、ハンドルキーパーは誰なのか」を確認して、飲酒運転を防止しましょう。

飲酒運転情報の提供

北海道警察では、悪質な飲酒運転を根絶するため、皆さんからの情報を提供をお待ちしています。「今まさ」など、すぐに対応が必要な場合は、110番通報をしてください。緊急時以外で、110番通報に抵抗がある場合は、飲酒運転に関する情報を受け付ける専用のメールフォーム「飲酒運転ゼロボックス」が北海道警察のホームページに設置されているので活用してください。

また、飲酒運転ゼロボックスでは、飲酒運転根絶に向けたアイデアも受け付けています。
ホームページ
<http://www.police.pref.hokkaido.lg.jp>
問興部警察署 ☎82・2110



問興部警察署 ☎82・2110

数多く発生しています。
冬山遭難を未然に防止するため、次の点に注意しましょう。
○自身の登山技術、体力、経験に合った山を選ぶとともに、行程など無理のない計画を立てましょう。
○登山計画書を必ず作成し、家族や職場などに渡すほか、興部警察署や最寄りの駐在所に提出しましょう。
また、登山計画書は北海道警察のホームページからメールで提出することもできます。

○単独での入山を避け、冬山登山の経験豊富なリーダーのもと、複数人の登山に努めましょう。
○入山前に必ず天気予報を確認するとともに、急な天候悪化にも耐えられる十分な装備、悪天候などによりテントや小屋へ留まる時の予備食料や燃料などを準備し、天候の悪化が予想される場合は登山を中止しましょう。
○万一の場合の通信手段として、携帯電話などの通信手段や充電バッテリー、登山用GPSを携帯しましょう。

Information 冬の生活支援を行っています！

広報おうむ11月号でお知らせしていますが、町では、高齢者等の冬の生活支援事業として、対象世帯に15,000円分の助成券を交付しています。該当となる世帯でまだ申請されていない世帯につきましては、お早めに申請願います。

●対象世帯

本年度町民税非課税世帯で、30年11月1日現在、雄武町に住居登録があり、次のいずれかに該当する世帯(生活保護世帯・福祉施設等入所者世帯・医療機関入院世帯は除く)

- ・70歳以上のみの高齢者世帯
- ・障害者手帳(身障1～2級・療育A判定・精神1級)を持っている人がいる世帯
- ・ひとり親世帯

●助成額

15,000円分の助成券(1,000円×15枚)

●助成券で購入できる品目

灯油、石炭、まき、暖房器具、冬用衣料、防寒具

●受付終了日

平成31年2月28日(木)※土、日、祝日は除く

●受付場所・問い合わせ

役場庁舎別館 保健福祉課社会福祉係

Information 電話等通信体制の強化について 要望書を提出しました

9月6日に発生した北海道胆振東部地震にともない、すべての固定電話や携帯電話、インターネット通信が不通になり、数時間にわたって緊急通報などができなくなりました。

人命にかかわる危機的な事態に陥ったことから、要望書「災害及び大規模停電時における電話等通信体制の強化について(要望)」を東日本電信電話株式会社北海道東支店へ提出しました。



↑要望書を手を持つ雄武町長(左)と東日本電信電話株式会社北海道東支店北見営業支店長吉尾氏(右)

問保健福祉課社会福祉係